

令和 5 年度 学校経営環境分析書

呉中央中学校区 校番 13 呉中央中学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領では、校種間連携の重要性が示され、小中一貫教育を積み重ねている本学園には、そのアドバンテージがある。 <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広島県で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造」に向けて、特色ある学校づくりが推進されている。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの小中一貫教育の取組を基盤とし、「主体的・対話的で深い学び」を通して、新しい時代に求められる資質・能力を育成する教育活動が展開されている。 	<p>S (強み)</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に小・中学校教職員の連携ができる。 ・児童生徒の成長や課題を小・中学校の教職員が共有し、その実態を踏まえた取組ができる。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間を見通したキャリア教育や異学年交流等により、優しさや思いやりのある生徒、自分の考えを表現できる生徒が多い。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動が活発に取り組み、教育活動への支援に協力的である。 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動に対し、理解があり協力的である。 ・市の中心に位置し、人・もの・ことに関して、豊富である。 	内部環境
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアコントロール力に課題を抱えている。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係づくりが苦手な生徒や人間関係に悩みをかかえている生徒がいる。 	<p>W (弱み)</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的な学校経営及びPDCAサイクルに基づく学校経営が十分とは言えない。 ・新学習指導要領に対応する日常的な授業改善が十分とは言えない。 ・日常的な超過勤務の解消が十分とは言えない。 	

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

- ・施設一体型小中一貫教育校の強みを活かし、小中教職員が日常的に連携を図り、より効果的な教育活動を推進し、生徒の資質・能力の育成を図る。
- ・生徒の自律・協働・創造の成長の流れを効果的に自己評価させ、自分を育てるための自己指導能力の育成を図る。
- ・小中で共通した重点種目を設定し、体力・運動能力の向上を図る。

情報の共有化を図る体制の確立と効果的な会議のあり方を検討し、より組織的・協働的な学校経営を推進する。

- ・教育相談連絡会議を定期的開催する等、組織的に長欠・不登校生徒の対応していく。
- ・メディアコントロールの定着を図る取組を強化すると共に、保護者啓発を計画的に行う。
- ・教科グループの授業研究を計画的に進め、授業改善を図る。
- ・部活動規定、一斉定時退校の厳守、行事の精選等を行い、業務改善を推進する。

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

2 重点課題

- ① 「主体的、対話的で深い学び」の実現と基礎・基本の定着を図る。
- ② 「自己指導能力」を高める。
- ③ 基本的生活習慣の定着と体力・運動能力の向上を図る。
- ④ 業務改善を進め、元気で明るい職場を実現する。